

東京都廃棄物審議会計画部会 1 回

会 議 次 第

日時 令和 2 年 1 1 月 1 1 日（水） 1 1 時 3 0 分～1 2 時 0 0 分

形式 WEB 会議

議事 （１）東京都資源循環・廃棄物処理計画の改定の視点

（２）その他

< 配付資料 >

資料 1 東京都廃棄物審議会計画部会委員名簿

資料 2 東京都資源循環・廃棄物処理計画の改定の視点

資料 3 東京都廃棄物処理計画 改定スケジュール（予定）

東京都廃棄物審議会計画部会委員名簿

(敬称略、五十音順)

大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 副会長
蟹 江 憲 史	慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授
後 藤 麻 里	東京商工会議所産業政策第二部主任調査役
斉 藤 崇	杏林大学総合政策学部 教授
佐 藤 泉	弁護士
田 崎 智 宏	国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター循環型社会システム研究室 室長
橋 本 征 二	立命館大学理工学部 教授
松 野 泰 也	千葉大学大学院融合理工学府 教授
宮脇 健太郎	明星大学理工学部 教授
森 本 英 香	早稲田大学法学部 教授

東京都資源循環・廃棄物処理計画改定の視点

(諮問の際に御説明した内容)

次の1及び2について、概ね令和12(2030)年頃を想定した長期的なビジョン及び令和7(2025)年度までの具体的な計画の2つの視点でご検討いただきたい。

- 1 コロナ禍を踏まえた「持続可能な資源利用」のあるべき姿と施策の方向性
- 2 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第5条の5第2項が定める事項

(計画改定の視点)

- 2050年までに、都内からのCO₂排出量の実質ゼロを目指すことを打ち出した「ゼロエミッション東京戦略」(令和元年12月公表)を実現するための施策のあり方
- コロナ禍においても、社会基盤として、安定的な廃棄物処理及びリサイクルを可能とするシステムのあり方
- 資源効率性に係る世界的な議論を踏まえた「持続可能な資源利用」の進捗状況を把握するための方策

東京都廃棄物処理計画 改定スケジュール（予定）

11月11日 廃棄物審議会総会（第24回）

計画部会（第1回）

・計画改定の視点



- 部会での審議（4回程度）
- 中間のまとめ案

5月中旬 廃棄物審議会総会（第25回）

・次期計画案（中間まとめ）の提出

5月下旬 パブコメ

区市町村意見聴取



- 部会での審議（2回程度）
- 最終まとめ案

9月上旬 廃棄物審議会総会（第26回）

・答申

9月下旬 新計画策定

